

団体・企業等名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会			
連絡先	所在地	〒605-0074 京都府京都市東山区祇園町551		
	TEL	075-757-8600	FAX	075-532-1110
	HPアドレス	https://www.kanken.or.jp/kanken/		
団体等の紹介・特色	<p>公益財団法人 日本漢字能力検定協会(漢検)では、公益事業活動の一環として、すべての世代が取り組める効果的な国語・漢字の学習プログラムをご提供しております。具体的には以下の内容をご提供しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無償学習教材・コンテンツの提供 ・漢字をテーマとした、全国的なイベント参加機会の提供(「今年の漢字」、「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」など) ・地域主体の学びを支援する制度(「漢字教育サポーター紹介制度」、「漢字まなび活動助成制度」など) ・検定試験へのチャレンジ機会の提供【受益者負担】 			

★応援隊事業の内容

支援形態	出前授業	見学/校外学習	資料提供	その他()			
メニュー	すべての世代で取り組むことができる、日本語・漢字をテーマにした学習教材・プログラム						
	備考	一部有償の教材もあります					
その他 特記事項	対応教科等	国語科					
	テーマ	安全・防災	金融・経済	国際理解	福祉・医療・介護	伝統・文化・芸術	野外体験
		環境教育	食育	職業教育・キャリア教育	情報教育・プログラミング	理科実験	スポーツ
		生活習慣	マナー	ものづくり	情報モラル・リテラシー	外国語	地域理解
		その他(学習)					
	必要経費(謝金は除く)	不要	要()				
	旅費(講師・スタッフ等)	不要	要()				
	土曜日等の活動	可	不可	応相談			
	対象 (学年の限定等)	幼稚園・認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
	対象地域	北西部	五條・北部吉野	北東部	南西部	南東部	

★これまでの学校支援(出前授業・見学等)実施の実績

実施時期	実施校	実施内容
2026年夏 初実施 検定日(弊協会が設定) 10月頃	公民館(福岡県) 放課後子ども教室(大阪府) 公立・私立小学校(全国)	プログラムを活用した漢字学習講座と漢字検定の実施(予定) 漢字検定の実施 「今年の漢字」への応募

資料・見本請求
はこちらから



無償学習教材・プログラム等 のご案内

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

※当協会は、全国コミュニティ・スクール連絡協議会の賛助会員です。

コミュニティ・スクール（以下、CS）における活動や地域学校協働活動での「学びの場づくり」を伴走支援するため、すべての世代が取り組める効果的な国語・日本語教育の学習プログラムをご提供しています。

0. 目次

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介 … 3 ~ 9
2. 漢字をテーマとしたイベントのご紹介 … 10 ~ 11
3. 地域主体の学びを支援する制度のご紹介 … 12 ~ 13
4. お問い合わせ先 … 14

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

●紙媒体 ※データでの提供も可能

読解力育成プリント

無償

文章作成力育成プリント

無償

文章検

文章検4級②
帯グラフィの読み取り

ある中学校は、国語の時間に10分程度の小テストを行っています。次の図は、二年生の生徒全員を対象として、この小テスト10分の平均点と、毎回小テストのための勉強をのぞいて行っているかを調べ、その結果をあわせて示したものです。これを見て、後の問い・問2に答えなさい。

問1 図から読み取れることとして正しいものを、アエのうちから二つ選びなさい。(10点)

ア 次の得点層でも、勉強時間が31~45分という人が最も多い。
イ 高得点を取るためには、46分以上の勉強時間が必要である。
ウ 低得点層で勉強時間が15分以下という人は、低得点層全体の5割を占めている。
エ 中間得点層で勉強時間が31~45分の人と、46~60分の人はいずれもおよそ30人である。

小テストの平均点別に見た勉強時間の割合

平均点層	15分以下	16~30分	31~45分	46~60分
70~100点 (高得点層)	10%	10%	20%	60%
50~69点 (中間得点層)	15%	25%	35%	25%
0~49点 (低得点層)	35%	45%	15%	5%

年 組 番 氏名

20

問2

「帯グラフィ」は、帯の幅が10cm以内のものを指す。帯の幅が10cm以内のものを「帯グラフィ」とし、帯の幅が10cmを超えるものを「帯グラフィ以外」とする。帯グラフィの読み取りは、帯の幅が10cm以内のものを「帯グラフィ」として読み取る。帯グラフィ以外の読み取りは、帯の幅が10cmを超えるものを「帯グラフィ以外」として読み取る。

文章検

文章検4級②
チャレンジ問題

飲み物などの自動販売機の近くには「ゴミ箱がある方がいい」という意見と「ゴミ箱はない方がいい」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。次の条件を守ること。

条件1 意見文は、次の順番で二つの段落に分けて書くこと。
第1段落 出来事・体験・知識を述べる。
「飲み物などの自動販売機近くのゴミ箱」について、あなたの意見を支える出来事・体験・知識を述べる。
第2段落 意見を述べる。
飲み物などの自動販売機の近くに「ゴミ箱がある方がいい」か「ゴミ箱はない方がいい」のどちらか、意見を明確に述べる。

条件2 1行25字のマス目に縦書きで、必ず10行以上、16行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭に来たときは、前行末欄内または欄外にうつてよい。

【注】行数が不足した場合、または行数を超えた場合は採点の対象となりません。

年 組 番 氏名

60

- 文章検の問題をもとに、作成されたコピーフリーのプリント
- 文章や図表を読み解く問題や意見文を論理的に作成する問題を通じて、論理的文章読解力・作成力をトレーニングすることが可能

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

●紙媒体

漢字桃鉄
地名漢字っておもしろい!

無償



- ・ すごろくをベースとしたオリジナルゲームを通して、子どもたちが自ら学び、漢字に興味を持っていくエデュテイメント授業
- ・ 小学校高学年の国語の単元と紐づけた授業内容で、授業計画にも織り込みやすい設計
- ・ 授業スライド、ワークシート、指導案、授業台本が付いており、授業準備の負担を軽減

漢字学習プログラム

無償



- ・ 協会発行の無償教材の活用案を掲載
- ・ 団体に合わせたプログラム設計が可能
- ・ 学習に寄せた活動と遊び感覚で学べる活動の両方があり、飽きることなく、さまざまなシーンでの活用が可能
- ・ 台本がついているので、先生ではない方でも子どもたちの漢字学習のサポートが簡単

漢字学習プログラムの展開

●各講座の要素分け
色は想定している各講座の所要時間です。
(グレー:15分、青:45分、緑:60分、紫:80分)

●講座のカスタマイズ例(あくまで一例です)

	漢検の学習に重点を置く場合	レクリエーションに重点を置く場合
4コマ	①→②→③→④	①×3→②→③→④(⑤)
6コマ	①→②→③→④→⑤→⑥	①×5→②→③→④→⑤(⑥)
8コマ	①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧	①×3→②→③→④→⑤(⑥)
12コマ	①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫	①×3→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫

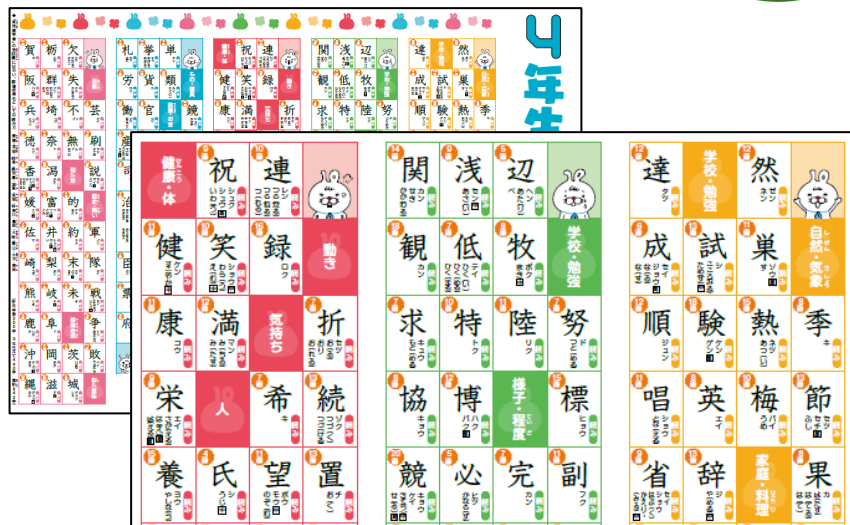
↓
12コマの場合は、月1回を想定しております。そのため、期間が限定される今年の漢字(㊦)などの時期も踏まえて①:4月、②:5月～(中略)～⑩:2月、⑪:3月に対応するようになっています。

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

●紙媒体

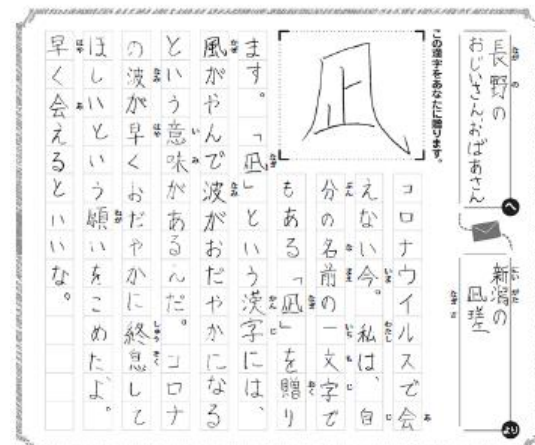
『いちまる 学年配当漢字ポスター』

無償



『今、あなたに贈りたい漢字コンテスト』

無償



・小学校の各学年配当漢字をテーマ別に一覧にまとめた学習教材

・低学年版・中学年版・高学年版の3種類あるため、学年進行に合わせた学習だけでなく、個に応じた学習にも活用可能

・漢検協会オリジナルキャラクター「いちまる」と一緒に、漢字の読みや画数を楽しく学ぶことができる

・贈りたい相手を選び、贈る漢字一字とメッセージ（120字以内）を書いて応募するコンテスト

・自分自身や周囲の人々を見つめ直し、自分の素直な気持ちと向き合うことで、人間性を育むことにもつながる

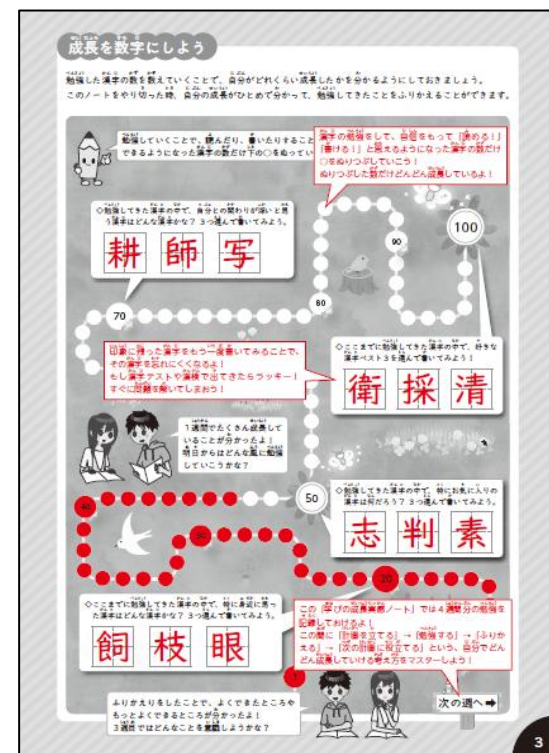
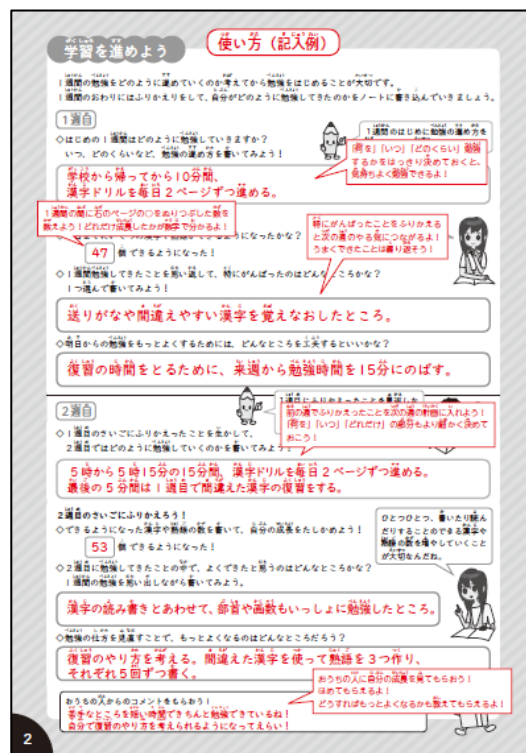
・小学校道徳教科書『どうとく3 きみが いちばん ひかるとき』（光村図書出版）の单元としても採用

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

●紙媒体 ※データでの提供も可能

無償

『学びの成長実感ノート』（制作・監修：東京学芸大学 森本 康彦 教授）



- ・ 漢字検定に向けた学習を通じて得た、気づきやできるようになったことなどを記録し、振り返り、次の学びに向かうことで「主体性」の醸成を目指した教材
- ・ 「キャリアパスポート」にも接続可能な教材

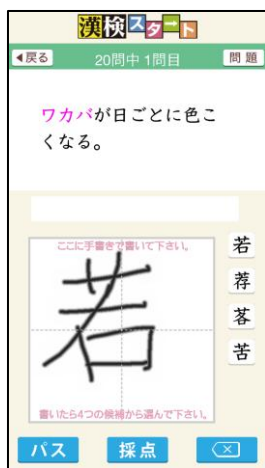
1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

● デジタル媒体 [iOS 及び Android対応]

※そのほか、スマートフォンのみ対応の無料学習アプリもございます。

『漢検スタート』

一部
無償



『いちまると旅しよう！しりもじ漢検』

無償



・ 10級から5級（小学校で扱う教育漢字1026字）まで、すべての問題（ドリルモード）と模擬検定1回分を無料で提供しているデジタル教材

・ レーダーチャートで、得意分野と苦手分野を把握でき、次の学習に生かせる仕様

・ 受検級を決める際に便利な実力診断問題付き

※ 4級から1級の問題は、有料です。

(販売元：イマジニア株式会社)

・ ただ漢字問題を解くだけではなく、かわいいキャラクターとコミュニケーションを取ったり、きせかえツールを手に入れたりしながら、楽しく継続して漢字を学習することができる教材

・ 「読み問題」「書き問題」を中心に、「対義語」「類義語」「熟語づくり」など多様な問題を出題。

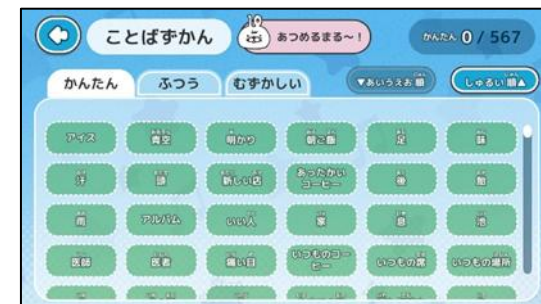
※ 広告なしは有料になります。

1. 無償学習教材・プログラムのご紹介

● デジタル媒体 [iOS及びAndroid対応端末 / Webブラウザ版]

無償

『いちまるとはじめよう！ことばむすび』（京都大学との共同企画・制作）



- ・ 〈ことばカード〉と〈おすびマーク〉を自由に組み合わせて、いろいろな文を作るゲーム教材
- ・ 作成した文は自動で採点され、評価が☆の数で表示される
- ・ うまく作れなかった文には、ナビゲートキャラクター「いちまる」が正しい文の作り方を提案
- ・ 言葉と言葉の自然なつながり（コロケーション）を確認することによって、**名詞や動詞といった言葉の性質や助詞の用法など、作文に必要な知識を身につけることが可能**
- ・ 身につけた言葉を文にしていく楽しさに気づくとともに、**語彙力・思考力の育成**が期待できる

2. 漢字をテーマとしたイベントのご紹介

無償

●今年[®]の漢字

(https://www.kanken.or.jp/project/edification/years_kanji.html)

- ・漢字の奥深さと意義を再認識していただくための活動の一環として、**毎年年末に今年一年の世相を表す漢字一字とその理由を全国から募集**しています
- ・最も応募数の多かった漢字を、京都・清水寺の森清範貫主の揮毫により発表し、奉納の儀式を行っていただいています
- ・毎年学校だけでなく、**地域学校協働活動を行う団体からも応募**いただいております

募集概要

募集概要	
募集期間	11月1日～12月初旬頃まで（例年）
募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・はがき ・インターネット （毎年、「今年の漢字」特設応募サイトを開設しています） ・応募箱 （清水寺、書店、図書館など全国1,300箇所以上に設置） ・団体応募（郵送・データ） <p>※投票用紙や応募箱を無償でご提供しております。</p>



2. 漢字をテーマとしたイベントのご紹介

- 「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」 (再掲)
 (<https://www.kanken.or.jp/project/edification/kanjicontest.html>)

無償

- ・ 家族や恋人、友人、恩人、自分自身に贈りたい、漢字一字とメッセージを表現する **すべての世代で取り組めるコンテスト**です

募集概要

募集期間	6月1日～9月下旬頃まで (例年)	
募集方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体…郵送 ・ 個人…WEB または 郵送 	
応募部門	①小学生部門 ②中学生部門 ③高校生部門 ④大学生・一般部門	
審査員	審査員長	橋本五郎 (読売新聞特別編集委員)
	審査員	ゴルゴ松本 (お笑い芸人)
	審査員	やすみりえ (川柳作家)
	審査員	華雪 (書家)
	審査員	山崎信夫 (当協会 代表理事 理事長)
表彰	絆大賞 (文部科学大臣賞4作品の中から1点) 賞状 文部科学大臣賞 (各部門1点) 賞状・副賞 (5万円相当) 日本漢字能力検定協会賞 (各部門1点) 賞状・副賞 (3万円相当) 審査員賞 (各部門3点) 賞状・副賞 (1万円相当) 佳作 (各部門10点) 賞状・副賞 団体賞 賞状・副賞	

指導者用『活用の手引き』

ワークシート

3. 地域主体の学びを支援する制度のご紹介

●漢字まなび活動助成制度

(<https://www.kanken.or.jp/project/edification/assist.html>)

無償

- ・日本全国における漢字学習の振興を目指し、当協会以外の団体が行う**地域の漢字学習の振興に寄与する活動に対して、活動費用の一部を助成する制度**です
- ・活動にかかった支出額の2分の1以下を助成します
(活動1件あたり30万円を上限/対象となる費目のみ/年間助成総額300万円に達したら終了)
- ・助成には、提出いただく所定の書類による審査があります

助成対象となる団体・活動（「募集要項」より抜粋）

- 助成対象となる団体
営利を目的としない団体

実費程度の参加費であれば
徴収してもかまいません。

- 助成対象となる活動

- ・漢字への興味関心を高める、または漢字学習の促進を目的とした活動
- ・地域社会に広く開かれており、その団体への所属を問わず誰でも参加できる活動
- ・2026年4月1日から2027年3月31日までに完了する活動 ※年度で切り替わります。

- 助成対象となる費目

- ・助成対象となる費目は、当該活動における会場費、広報費、通信・運搬費、参考文献購入費、資料印刷費、消耗品費、行事保険費、講師謝金、旅費交通費、ボランティア謝金 ほか。

漢字検定取得に向けた講座を開講することはできますが、検定料は助成対象外となります。その他、飲食費や役員報酬、接待費は助成対象外です。

3. 地域主体の学びを支援する制度のご紹介

●漢字教育サポーター紹介制度

(<https://www.kanken.or.jp/kanken/supporter/>)

無償

・ **学校における放課後や土曜講座での講師、あるいは地域の公民館における生涯学習講座の講師**として、当協会に登録されている「漢字教育サポーター」をご紹介する制度です

・ **講師は、漢検の上位級（1級・準1級）の合格者**で、漢検の学習によって培った漢字の知識に加え、育成講座によって漢字に関する体系的な学習を積んだ方々です

・ **漢字をテーマとしているため、子どもから大人まで参加できる**ことから、先生方だけでなく、学校の地域コーディネーターの方や、カルチャーセンター、公民館からもご依頼をいただいています

※講師の紹介料は無料ですが、講師によって謝金や交通費・資料代等の必要経費を希望する場合があります。

4. お問い合わせ先

資料のご請求やご不明点は、
お気軽に下記にお問い合わせください。

担当部署 : CS推進部 CR課 学びの共創支援チーム

TEL : 075-757-8584

E-mail : gakushushien1@kanken.or.jp

受付時間 : 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日・お盆・年末年始を除く)